

評価シート（年度評価）

日光川公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	PMI サンビーチ日光川		
主な業務内容	日光川公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市港区藤前五丁目901		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置 緊急時の体制 人材育成等	○	
	2 協働	市民等との協働		
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	○	
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	—	新型コロナウイルス感染症対策のためプール営業を中止したため評価対象外
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接客向上の取組み		
		苦情・要望に対する適切な処理		
3 この施設特有の管理	利用者の安全確保	—	新型コロナウイルス感染症対策のためプール営業を中止したため評価対象外	
	めざす公園像への取組み			
4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	—	新型コロナウイルス感染症対策のためプール営業を中止したため評価対象外	
	イベント等の実施			
	利用者への広報・情報提供の実施			
	利用者数の増加			
5 取納金の処理業務	現金等の取扱い	○		
	関係書類の調製・保管			
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
		便益施設の管理運営		
		供用期間外の取組み		
収支	1 収支	経費節減策	—	新型コロナウイルス感染症対策のためプール営業を中止したため評価対象外
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

新型コロナウイルスの関係で令和2年度のプール営業は休業となってしまったが、令和3年度の営業に向けて施設、設備の管理を行っており必要な準備を行うことができた。ただし、休業期間中でも植物管理は必要であったと考えられるが、具体的な内容について示されておらず、人の管理体制についても、もう少しわかりやすく体制整備していくと良い。

# 施設の現状

## 日光川公園

施設の現状	施設概要							
	日光川公園は、名古屋市南西部の都心から約9kmの位置にある親水レジャー公園で、夏期にはプール公園として市民に親しまれています。南側は日光川の河口に面しているため、サンデッキより雄大な景観を望むことができます。施設はウェーブプール、ビーチプール、キッドプール、ウォータースライダーや砂浜があり、ヤシの木とハイビスカスに囲まれた南国の海辺をイメージして整備されています。							
	市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
96,646	6,094	102,740	96	—	102,644	102,740	—	
特記事項								
新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年度はプール営業を中止								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	利用者1人あたりの運営費	円	1,513	1,709	1,994	—		
	利用可能日数あたりの運営費	千円	3,842	4,026	4,198	—		
	入場者数	人	152,337	139,035	126,329	0		
特記事項								
新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年度はプール営業を中止								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

日光川公園プールにおける指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者	PMI サンビーチ日光川
主な業務内容	日光川公園プールの管理運営業務
評価対象期間	平成30年4月～令和3年3月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分			特記事項	
	30年度	元年度	2年度		
1 管理体制及び協働				<p>【30年度】【元年度】 警察OBを常駐させ、事案に対応した。救急救命訓練や心肺蘇生訓練を毎日実施するとともに、接遇や監視員研修を実施し毎日の朝礼にて情報共有を確認した。各担当職員が無線で状況確認を行い、情報の共有を行いトラブル等に迅速に対応できる体制を構築した。</p>	
職員配置	◎	◎	○		
緊急時の体制					
人材育成等					
市民等との協働					
2 維持管理				<p>【30年度】 施設の応急保全を行うなど維持管理の水準表どおり実施した。 本庁発注の大規模修繕工事に際し、保守業者を指導し、円滑な工事施工に寄与した。 【元年度】 施設の応急保全を行うなど維持管理の水準表どおり実施している。</p>	
園内清掃	○	○	○		
建物・設備の管理					
保守・点検・修繕					
植物管理					
管理水準の維持					
関係書類の調製・保管					
3 運営管理				<p>【30年度】 プール内での犯罪行為や利用者間のトラブルなどに適切に対応した。 【元年度】 利用者意見への対応や路上駐車対応を実施している。</p>	
利用者アンケートの実施	○	○	—		
利用者ニーズの把握と反映					
利用者サービス向上策					
接客・接遇向上の取組み					
苦情・要望に対する適切な処理					
個人情報の適切な管理					
4 この施設特有の管理				<p>【30年度】 例年より気温が高かったため、特に熱中症への対策を実施した。 利用者の安全確保に努め、平成30年度利用者の重大な事故はなし。 気象状況の影響により昨年度より利用者数が減少した。 (平成29年度 152,337人 平成30年度 139,035人) 【元年度】 利用者の安全確保に努め、令和元年度利用者の重大な事故はなし。 各担当職員が無線で状況確認を行い、緊急時の体制を確保。気象状況の影響により昨年度より約10%減少した。 (平成30年度 139,035人 令和元年度 126,329人)</p>	
利用者の安全確保他	◎	◎	—		
閉鎖期間中の取組					
5 魅力増進・利用促進	◎	◎	—		
魅力の増進策					
イベント等の実施					
利用者への広報・情報提供の実施					
利用者数の増加					
6 収納金の処理業務					<p>【30年度】 現金の取扱いについて、入園券販売時の保管方法に工夫が見られる。 【元年度】 収納金の処理業務について、入園券販売時にの保管方法に工夫（手売り（領収書発行）場所が事務所と離れた券売機と同じ建物にあるので、誰が訪ねてきたか確認するためにノック回数などを工夫している）がみられる。</p>
現金等の取扱い	○	○	○		
関係書類の調製・保管					
7 自主事業				<p>【30年度】【元年度】 計画に基づく事業を実施した。</p>	
事業計画に基づく自主事業の実施	○	○	○		
集客対策への効果					
自主事業の収支及び還元					
便益施設の管理運営					
供用期間外の取組み					
8 収支				<p>○ ○ —</p>	
経費節減策	○	○	—		
年間収支					
9 その他				<p>○ ○ ○</p>	
法令・協定の遵守	○	○	○		
事業計画との比較分析					

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成30年度	<p>利用者の安全を第一に施設の点検、整備、修繕に取り組み、老朽化した施設を適切に管理している。特に安全に関わる業務に力を入れ、緊急時の安全対策や監視体制をしっかりと、重大な事故などもなく管理運営ができたことは評価できる。また、季節外の自主事業イベントも行われている。</p> <p>改善されたい点として、利用者の声にこたえて清潔感を高めるとともに、利用者のアンケート結果や、クレーム対応の中から、さらに具体的な改善事項を積み上げて、不適切な利用者への指導を徹底して行って欲しい。</p> <p>また、利用者減は天候の影響もありやむをえないが、県外利用の増進には努力の余地が残されているため、今後も利用者増に向けて営業活動やサービスの向上に努めて欲しい。</p>
令和元年度	<p>最も基本的な事項である利用者の安全確保に、十分な注意を払うよう計画をたて実施し、防犯面での強化を図り重大な事故なく運営・管理できた点は評価できる。施設の老朽化により、各所に修繕すべき箇所が出てきており、これに対して適切に対応して営業を続けている努力は評価したいが清潔な環境づくりに更に取り組んでほしい。</p> <p>また、利用者増に向けた広報PRにもっと力を入れ、シーズンオフ等の広大な駐車場の利用について今後もPRに努力してほしい。</p>
令和2年度	<p>新型コロナウイルスの関係で令和2年度のプール営業は休業となってしまったが、令和3年度の営業に向けて施設、設備の管理を行っており必要な準備を行うことができた。ただし、休業期間中でも植物管理は必要であったと考えられるが、具体的な内容について示されておらず、人の管理体制についても、もう少しわかりやすく体制整備していくと良い。</p>

### 3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
<p>利用者への安全対策に力を入れ、重大な事故無く営業を行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりプール営業を中止した。</p> <p>《入場者数》 平成30年度：139,035人 令和元年度：126,329人 令和2年度：営業中止</p>

### 4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
<p>平成30年度において支出超過、令和2年度は営業中止に伴う指定管理料の減額となったが適切な執行がなされた。</p>

### 5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
<p>利用者へのアンケート結果では、「とても満足」「満足」の割合が、平成30年「87%」、令和元年度「91%」と満足度の向上が見られた。</p>

### 6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
<p>プールで一番重要な利用者への安全に関わる業務に力を入れ、緊急時の安全対策や監視体制について十分な配慮を行っており、プールの施設、設備が老朽化し更新が出来ない中で、老若男女、特に子供がいるファミリーが訪れる事が出来る施設環境の整備、管理を適切に行い、重大な事故などもなく毎年の営業を無事終えたことは評価できるが、報告内容に具体性が欠けており分かりにくい点が見られた。</p> <p>チラシのデザインが長い間変わっていないことから、広報に対する取り組み姿勢に疑問を感じる点があった。</p>